

令和3年度 年間授業計画

都立墨田川高等学校

教科・科目	地歴・世界史B	講座名	世界史B	対象年次	2
教科担任	宋戸佑斗・東山吉達			単位数	3
教科書	詳説 世界史B (山川出版社)				
副教材等	New Stage世界史詳覧 (浜島書店) 詳説世界史10分間テスト (山川) 新世界史研究ノート (啓隆社)				

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> 世界の諸地域に住む人々の特有の自然・地理環境のなかで発展させた生活様式や宗教等を理解する 歴史事象の基本的事項を理解し、各地域の人々が他地域の人々とどのように交流し、自らの歴史的世界を形成し、どのように変容していったのかを把握する。
------	---

月	期間	単元	配当時間	学習内容	学習上の留意点
4月 ～ 5月	第一回定期考査	<ul style="list-style-type: none"> 先史の世界 オリエントと地中海世界 アジア、アメリカの古代文明 	18h	<ul style="list-style-type: none"> 先史の世界 古代オリエント世界 インドの古典文明 東南アジアの諸文明 南北アメリカ文明 	世界の遺跡や美術品等視覚教材を用いて導入とする。オリエント、インド、東南アジア、南北アメリカの古代文明の特徴を把握させる。
5月 ～ 7月	第二回定期考査	<ul style="list-style-type: none"> アジア、アメリカの古代文明 内陸アジア世界 東アジア世界の形成 	18h	<ul style="list-style-type: none"> ギリシア世界 ローマ世界 中国の古典文明 	古代のギリシア世界、地中海を席卷したローマの政治機構とそのシステム崩壊を解明する。古典資料等を利用して中国文明を身近に感じるように、工夫する。
7月 ～ 10月	第三回定期考査	<ul style="list-style-type: none"> イスラーム世界の形成と発展 ヨーロッパ世界の形成と発展 	21h	<ul style="list-style-type: none"> 草原の遊牧民とオアシスの定住民 北方民族の活動と中国の分裂 東アジア文化圏の形成 イスラーム世界の形成 イスラーム世界の発展 インド、東南アジア、アフリカのイスラーム化 イスラーム文明の発展 西ヨーロッパ世界の成立 東ヨーロッパ世界の成立 	遊牧民の生活を実感させる。隋・唐の時代の東アジア地域のつながりを把握させる。イスラーム教について正しい知識とアラブ社会の文化を丁寧に解説する。ゲルマン民族の活動を理解させる。
10月 ～ 12月	第四回定期考査	<ul style="list-style-type: none"> ヨーロッパ世界の形成と発展 内陸アジア、東アジア世界の展開 	21h	<ul style="list-style-type: none"> 西ヨーロッパ中世世界の変容 西ヨーロッパ中世世界の文化 トルコ化とイスラーム化の進展 東アジア諸地域の自立化 	西ヨーロッパの中世社会のしくみとヨーロッパ各国の原型をきちんととらえる。宋代の東アジア地域の情勢を把握させる。
12月 ～ 3月	第五回定期考査	<ul style="list-style-type: none"> 内陸アジア世界 東アジア世界の展開 アジア諸地域の繁栄 	27h	<ul style="list-style-type: none"> モンゴルの大帝国 東アジア世界の動向 清代の中国と隣接諸地域 トルコ、イラン世界の展開 ムガル帝国の興隆と東南アジア交易の発展 	モンゴル民族の発展が東西世界の交流に寄与した点を理解させる。明・清、オスマン＝トルコ帝国、サファビー朝、ムガル帝国の繁栄を解説する。

令和3年度 年間授業計画

都立墨田川高等学校

教科・科目	地歴・世界史B	講座名	世界史B	対象年次	3
教科担任	小粥久美子			単位数	5
教科書	詳説世界史B（山川出版社）				
副教材等	ニューステージ世界史詳覧（浜島出版）、総合マスター世界史B（浜島書店） 世界史用語集（山川出版社）				

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> 世界の諸地域に住む人々の特有の自然・地理環境のなかで発展させた生活様式や宗教等を理解する 歴史事象の基本的事項を理解し、各地域の人々が他地域の人々とどのように交流し、自らの歴史的世界を形成し、どのように変容していったのかを把握する。
------	---

月	期間	単元	配当時間	学習内容	学習上の留意点
4月 ～ 5月	第一回 ～ 考査	<ul style="list-style-type: none"> 近代ヨーロッパの形成 ヨーロッパ近世世界の展開 	30h	<ul style="list-style-type: none"> ヨーロッパ世界の拡大 ルネサンス 宗教改革 ヨーロッパ諸国の抗争と主権国家体制の形成 重商主義と啓蒙専制主義 ヨーロッパ諸国の海外進出 17世紀、18世紀のヨーロッパの文化 	1400年代後半以降のヨーロッパ諸国の動向を理解させ、ヨーロッパにおいて主権国家体制が確立していく様子を把握させる。
5月 ～ 7月	第二回 ～ 考査	<ul style="list-style-type: none"> 近代ヨーロッパアメリカ世界の成立 欧米における近代国民国家の発展 	30h	<ul style="list-style-type: none"> 産業革命 アメリカ独立革命 フランス革命とナポレオン ウィーン体制の成立 ヨーロッパの再編と新統一国家の誕生 南北アメリカの発展 19世紀の文化 	産業革命、アメリカの独立、フランス革命の事実関係を理解させ、各国に与えた影響について考察させる。1800年代のアメリカ合衆国の動向を理解させる。
7月 ～ 10月	第三回 ～ 考査	<ul style="list-style-type: none"> アジア諸地域の動揺 帝国主義とアジアの民族運動 二つの世界大戦 	35h	<ul style="list-style-type: none"> オスマン帝国支配の動揺と西アジア地域の変容 南アジア・東南アジアの植民地化 東アジアの激動 帝国主義と列強の展開 世界分割と列強対立 アジア諸国の改革と民族運動 第一次世界大戦とロシア革命 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 アジア・アフリカ民族主義の進展 世界恐慌とファシズム諸国の侵略 第二次世界大戦 	1800年代後半から帝国主義政策をとる国々がアジア、アフリカ諸国への侵略を進めた様子を理解させる。1900年代の前半に起こった二つの世界大戦の経過を理解させ、現代世界につながる諸問題の萌芽を考察する。
10月 ～ 12月	第四回 ～ 考査	<ul style="list-style-type: none"> 冷戦と第三世界の独立 現在の世界 	35h	<ul style="list-style-type: none"> 戦後世界秩序の形成とアジア諸地域の独立 米ソ冷戦の激化と西欧・日本経済の復興 第三世界の台頭と米ソの歩み寄り 社会主義の変容とグローバリゼーションの進展 途上国の民主化と独裁政権の動揺 地域紛争の激化と深刻化する貧困 現代文明の様相 	第二次大戦以降の世界の変化について、多方面から理解させる。
12月 ～ 3月	第五回 ～ 考査	大学入試問題演習	45h	<ul style="list-style-type: none"> センター型問題演習の実施 私大型入試問題演習 	実践力をつけるための演習を実施する。

価の観点・方法	基本的な歴史用語をきちんと理解し、人類の壮大な交流に思いをはせ、それぞれの民族や宗教がどのようにかかわるのか複眼的な視野で歴史を認識する力を養わせる。評価は定期考査、提出物、授業への参加点等を加味して行う。
---------	---

令和3年度 年間授業計画

都立墨田川高等学校

教科・科目	地歴・世界史B演習	講座名	世界史B演習	対象年次	3
教科担任	宋戸佑斗・小粥久美子			単位数	2
教科書	詳説 世界史B (山川出版社)				
副教材等	New Stage世界史詳覧 (浜島書店) 詳説世界史10分間テスト (山川) 総合マスター世界史B (浜島出版)				

学習目標	古代から現代に至る世界史の概略を理解し、問題集などを活用して知識の定着をはかり、大学受験に対応できる基礎的な学力を身につける。さらに、様々な大学の過去問などを解きながら、応用的な能力を養っていくと同時に歴史用語・基礎的事項を理解し、空間的・時間的な把握を行い、歴史的意義や今日の問題まで関心を持つようになることを目的とする。
------	--

月	期間	単元	配当時間	学習内容	学習上の留意点
4 月	第一 回 考 査	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古代の世界 ・ 前2世紀の世界 ・ 2世紀の世界 ・ 5～6世紀の世界 ・ 8世紀の世界 ・ 11世紀の世界 	1 2 h	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古代の世界から6世紀頃までの世界の諸地域の歩みについて問題集(総合マスター)を使いながら、基礎的な知識の定着をはかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古代の世界、前2世紀の世界から6世紀頃までの世界諸地域の動向を確認する。 ・ 西ヨーロッパ中世世界の歴史や中国の唐から宋王朝の頃の様子を理解する。
5 月	第二 回 考 査	<ul style="list-style-type: none"> ・ 13世紀の世界 ・ 14～15世紀の世界 ・ 16世紀の世界 ・ 17世紀の世界 ・ 18世紀の世界 ・ 19世紀の世界 	1 2 h	<ul style="list-style-type: none"> ・ 13世紀から19世紀前半までの世界史の動向について問題集(総合マスター)を使いながら、基礎的な事項や知識の定着をはかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ モンゴル民族の発展、ヨーロッパ世界の変動、アジア諸国の繁栄、アメリカ独立やフランス革命などについて基礎的な事項を理解する。 ・ ヨーロッパ諸国の海外進出とその影響を把握する。
7 月	第三 回 考 査	<ul style="list-style-type: none"> ・ 19世紀半ばの世界 ・ 19世紀末の世界 ・ 1910年代の世界 	1 4 h	<ul style="list-style-type: none"> ・ 19世紀半ばから第一次世界大戦の頃までの世界の諸地域の様子について理解し、帝国主義についての把握に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 帝国主義国の対立から第一次世界大戦までの動きについて基礎的な事項を理解する。
10 月	第四 回 考 査	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1930年代の世界 ・ 1960年代の世界 ・ 内陸アジア ・ ロシアの領土拡大 ・ 覇権国家の移り変わり 	1 4 h	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第一次世界大戦後から現代世界の諸問題まで問題集(総合マスター)を使いながら、基礎的な事項や知識の定着をはかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第一次世界大戦後の世界の動向について理解させる。 ・ 現在の世界の諸問題を理解させる。
12 月	第五 回 考 査	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学入試問題演習 	1 8 h	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学入試センター試験・個別入試にむけて過去問を中心に演習をおこなう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史的事項を正確にアウトプットできているかどうかを確認しながら演習をおこなう。
評価の観点・方法		大学入試に対応できる学力を身につけ、同時に歴史用語・基礎的事項を理解し、空間的・時間的な把握を行い、歴史的意義や今日の問題まで関心をもつことができたかを、年4回の考査の素点を基礎として出席状況、平常点を加味して評価する。			

令和3年度 年間授業計画

都立墨田川高等学校

教科・科目	地歴公民科・日本史	講座名	日本史B 古代・中世	対象年次	2年次
教科担任	玉腰 隆幸			単位数	2
教科書	詳説日本史B (山川出版社)				
副教材等	新詳日本史 (浜島書店) ・ 詳説日本史10分間テスト (山川出版社) ・ 新日本史研究ノート				

学習目標	・資料を活用し多面的・多角的に考察する力を身に付け、現代の諸課題を見出して、その解決に向けて生涯にわたって考察、構想することができる資質・能力を育成する。
------	---

月	期間	単元	配当時間	学習内容	学習上の留意点
4月 ～ 5月	第一回定期考査	【日本文化のあけぼの】	12h	<ul style="list-style-type: none"> 文化のはじまり 農耕社会の成立 古墳と大和政権 飛鳥の朝廷 	<ul style="list-style-type: none"> 黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成、原始社会の特色を理解させる。 原始から古代の政治・社会や文化の特色を理解させる。
5月 ～ 7月	第二回定期考査	【律令国家の形成】	12h	<ul style="list-style-type: none"> 律令国家への道 平安京の時代 天平文化 	<ul style="list-style-type: none"> 中国大陸・朝鮮半島との関係、隋・唐など中国王朝との関係と社会や文化への影響などに着目して、小国の形成と連合、古代国家の形成の過程について、多面的・多角的に考察する。
7月 ～ 10月	第三回定期考査	【貴族政治と国風文化】	14h	<ul style="list-style-type: none"> 平安王朝の形成 摂関政治 国風文化 	<ul style="list-style-type: none"> 貴族政治の展開、平安期の文化などを基に、律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容を理解させる。
10月 ～ 12月	第四回定期考査	【中世社会の成立】	14h	<ul style="list-style-type: none"> 地方政治の展開と武士 院政と平氏の台頭 鎌倉幕府の成立 	<ul style="list-style-type: none"> 貴族政治の変容と武士の政治進出、土地支配の変容などを基に、古代から中世への時代の展開を理解させる。
12月 ～ 3月	第五回定期考査	【中世社会の成立】	18h	<ul style="list-style-type: none"> 武士の社会 蒙古襲来と幕府の衰退 鎌倉文化 	<ul style="list-style-type: none"> 武家政権の成立と展開、産業の発達、宗教や文化の展開などを基に、武家政権の伸張、社会や文化の特色を理解させる。
評価の観点・方法		<p>「知識・技能」歴史に関わる諸事象について、世界の歴史と関連付け理解することができる。</p> <p>「思考・判断・表現」社会的な見方・考え方を働かせて多面的・多角的に考察することができる。</p> <p>「主体的に取り組む態度」課題を主体的に追究しようとするすることができる。</p>			

令和3年度 年間授業計画

都立墨田川高等学校

教科・科目	地歴公民科・日本史	講座名	日本史B 近世	対象年次	2年次
教科担任	遠藤 達			単位数	1
教科書	詳説日本史B (山川出版社)				
副教材等	新詳日本史 (浜島書店) ・ 詳説日本史10分間テスト (山川出版社) ・ 新日本史研究ノート				

学習目標	・資料を活用し多面的・多角的に考察する力を身に付け、現代の諸課題を見出して、その解決に向けて生涯にわたって考察、構想することができる資質・能力を育成する。
------	---

月	期間	単元	配当時間	学習内容	学習上の留意点
4月 ～ 5月	第一回定期考査	【幕藩体制の確立】	6h	・織豊政権 ・桃山文化	・中世から近世への国家 ・社会の変容を多面的・多角的に考察し表現することで、中世から近世への転換を理解させる。
5月 ～ 7月	第二回定期考査	【幕藩体制の確立】	6h	・幕藩体制の確立 ・幕藩社会の構造	・法や制度による支配秩序の形成と身分制、貿易の統制と対外関係、技術の向上と開発の進展、学問・文化の発展などを基に幕藩体制の確立を理解させる。
7月 ～ 10月	第三回定期考査	【幕藩体制の展開】	7h	・幕政の安定 ・経済の発展	・法や制度による支配秩序の形成と身分制、貿易の統制と対外関係、技術の向上と開発の進展、学問・文化の発展などを基に幕藩体制の確立を理解させる。
10月 ～ 12月	第四回定期考査	【幕藩体制の展開】 【幕藩体制の動揺】	7h	・元禄文化 ・幕政の改革	・近世の国家・社会の変容について考察し、幕藩体制の変容、近世庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成などを理解させる。
12月 ～ 3月	第五回定期考査	【幕藩体制の動揺】	9h	・宝暦・天明期の文化 ・幕府の衰退と近代への道 ・化政文化	・社会・経済の仕組みの変化、幕府や諸藩の政策の変化、国際情勢の変化と影響、政治・経済と文化との関係などに着目して、多面的・多角的に考察させる。
評価の観点・方法		「知識・技能」歴史に関わる諸事象について、世界の歴史と関連付け理解することができる。 「思考・判断・表現」社会的な見方・考え方を働かせて多面的・多角的に考察することができる。 「主体的に取り組む態度」課題を主体的に追究しようとするすることができる。			

令和3年度 年間授業計画

都立墨田川高等学校

教科・科目	地歴公民科・日本史	講座名	日本史B	対象年次	3
教科担任	野村 将士			単位数	5
教科書	詳説日本史B (山川出版社)				
副教材等	最新日本史図表 (第一学習社) 新詳説日本史史料集 (実教出版) 日本史標準問題 (山川出版社)				

学習目標	現在の日本が形成されてきた歴史的過程を、2年次に学んだ時代区分に続いて学習し、歴史的思考力を培うとともに、主体的に生きる日本人としての資質を養う。
------	---

月	期間	単元	配当時間	学習内容	学習上の留意点
4月 ～ 5月	第一回 ～ 回 ～ 考 ～ 査	・幕藩体制の確立 ・幕藩体制の展開	30h	・幕藩体制の成立 ・幕藩社会の構造 ・幕政の安定 ・経済の発展	・幕藩体制の成立から安定までの過程における幕府の諸政策のねらいや社会の変容の様子を、諸資料の考察を通して理解させる。
5月 ～ 7月	第二回 ～ 回 ～ 考 ～ 査	・幕藩体制の展開 ・幕藩体制の動揺	30h	・元禄文化 ・幕政の改革 ・宝暦・天明期の文化 ・幕府の衰退と近代への道 ・化政文化	・幕藩体制中期以降に誕生した思想や学問が、改革や倒幕の根拠となったことを、既習の思想史との比較を通して考察、理解させる。
7月 ～ 10月	第三回 ～ 定 ～ 期 ～ 考 ～ 査	・近代国家の成立 ・二つの世界大戦とアジア	35h	・開国と幕末の動乱 ・明治維新と富国強兵 ・立憲国家の成立と日清戦争 ・日露戦争と国際関係 ・近代産業の発達 ・近代文化の発達 ・第一次世界大戦と日本	・開国から第一次世界までの政府の諸政策のねらいや近代化の様子をアジア諸国や欧米列強との関係を通して考察、理解させる。
10月 ～ 12月	第四回 ～ 定 ～ 期 ～ 考 ～ 査	・二つの世界大戦とアジア ・占領下の日本 ・高度成長の時代 ・激動する世界と日本	35h	・ワシントン体制 ・市民生活の変容と大衆文化 ・恐慌の時代 ・軍部の台頭 ・第二次世界大戦 ・占領と改革 ・冷戦の開始と講和 ・55年体制 ・経済復興から高度成長へ ・経済大国への道 ・冷戦の終結と日本社会の動揺	・ワシントン体制の成立から、戦争や高度成長を経て現代に至るまでの日本や世界の変遷を、各国の横のつながりや現在の我々の生活との比較を通して考察、理解させる。
12月 ～ 3月	第五回 ～ 定 ～ 期 ～ 考 ～ 査	大学入試問題演習	45h	・共通テスト型問題演習の実施 ・私大型入試問題演習 ・国公立大型入試問題演習 ・各テーマ史	実践力をつけるための演習を実施する。
評価の観点・方法	歴史的事象の基礎理解や、諸資料を活用しての各事象の歴史的意義を自らの力で考察・表現できる力を養わせる。評価は、定期考査・レポート等課題・授業の取り組み状況等を総合して行う。				

令和3年度 年間授業計画

都立墨田川高等学校

教科・科目	地歴公民科・日本史	講座名	日本史B演習	対象年次	3
教科担任	野村 将士 伏見 太郎			単位数	2
教科書	詳説日本史B (山川出版社)				
副教材等	最新日本史図表 (第一学習社) 日本史標準問題 (山川出版社) 大学入学共通テストトレーニング問題集 (山川出版社)				

学習目標	先史から現代に至る日本史の概略を理解し、問題集などを活用して知識の定着をはかり、大学受験に対応できる基礎的な学力を身につける。また、大学入試過去問題の演習を通してより応用的な能力を養い、歴史的意義や現代につながる諸問題についても考察する。
------	---

月	期間	単元	配当時間	学習内容	学習上の留意点
4月 ～ 5月	第一回 ～ 回 ～ 考 ～ 査	先史・古代	12h	<ul style="list-style-type: none"> ・日本文化のあけぼの ・律令国家の形成 ・貴族政治と国風文化 	・先史～撰関政治の歴史について、中央集権体制の成立や皇族と貴族の外戚関係、仏教との関わり等に着目し、問題演習を中心に理解、考察させる。
5月 ～ 7月	第二回 ～ 回 ～ 考 ～ 査	中世・近世	12h	<ul style="list-style-type: none"> ・中世社会の成立 ・武家社会の成長 ・幕藩体制の確立 	・中世～近世の武家社会の変遷について、武士の主従関係や相続、農村との関わり等に着目し、問題演習を中心に理解、考察させる。
7月 ～ 10月	第三回 ～ 定 ～ 期 ～ 考 ～ 査	近世・近代	14h	<ul style="list-style-type: none"> ・幕藩体制の展開 ・幕藩体制の動揺 ・近代国家の成立 	・幕藩体制の展開～近代国家の歴史について、思想や学問の発達や農村や町の発展の様子に着目し、問題演習を中心に理解、考察させる。
10月 ～ 12月	第四回 ～ 定 ～ 期 ～ 考 ～ 査	近代・現代	14h	<ul style="list-style-type: none"> ・二つの世界大戦とアジア ・占領下の日本 ・高度成長の時代 ・激動する世界と日本 	・第一次世界大戦～現代までの変遷について、戦前と戦後の国家体制の比較や世界との関わり方の変化に着目し、問題演習を中心に理解、考察させる。
12月 ～ 3月	第五回 ～ 定 ～ 期 ～ 考 ～ 査	<ul style="list-style-type: none"> ・大学入試問題演習 ・テーマ史 	18h	<ul style="list-style-type: none"> ・共通テスト型問題演習の実施 ・私大型入試問題演習 ・国公立大型入試問題演習 ・各テーマ史 	・大学入試の過去問題演習や社会史、経済史などのテーマ史の学習を通して、基礎知識の確実な定着および応用、発展的な考察・表現をできるようにする。
評価の観点・方法	歴史的事象の基礎理解や、諸資料を活用しての各事象の歴史的意義を自らの力で考察・表現できる力を養わせる。評価は、定期考査の素点を基礎として、出席状況や平常点を加味して行う。				

令和3年度 年間授業計画

都立墨田川高等学校

教科・科目	地歴・地理B	講座名	地理B	対象年次	1
教科担任	高沢 直子 坂口 克彦			単位数	2
教科書	新詳地理B (帝国書院)、新詳高等地図 (帝国書院)				
副教材等	COMPLETE2021 (帝国書院)				

学習目標	現代世界の地理的事象を系統地理的に、また、歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる資質を養う。
------	---

月	期間	単元	配当時間	学習内容	学習上の留意点
4月 }	第一回定期考査	地理情報と地図 日本の自然地名 および都市	12h	<ul style="list-style-type: none"> 日本の自然地名 日本の都市 地理情報システムGIS 球面上の位置、方位、対蹠点、時差 主要な図法の種類とその特徴 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校および中学校時代の地理的認識を把握し、高等学校での学習につなげる。 新学習指導要領で強調されている地理情報システムについても取り上げる。
5月 }	第二回定期考査	地図の活用と 地域調査	12h	<ul style="list-style-type: none"> 各種図法とその応用 地理情報の地図化 地図の活用と地域調査 	<ul style="list-style-type: none"> 新学習指導要領で強調され、大学入試共通テストでも既に取り上げられている地域調査について取り扱う。
7月 }	第三回定期考査	世界の地形	14h	<ul style="list-style-type: none"> プレートテクトニクス理論 プレートテクトニクス理論と地震・火山活動・大地形の関係や分布 小地形の形成過程、分布や各地形の特徴と人間生活とのかかわり 小地形の形成過程、分布や各地形の特徴と人間生活とのかかわり 	<ul style="list-style-type: none"> 新学習指導要領で強調されている、災害論にも結び付ける。
10月 }	第四回定期考査	世界の気候	14h	<ul style="list-style-type: none"> 世界の気候の成因、大気の大循環 大気の大循環とケッペンの気候区分との関係 気候と植生や土壌との関係および分布 グラフなどの資料から、各気候の特徴を把握 日本の気候環境と災害 気候に関連する環境問題 	<ul style="list-style-type: none"> 地形論と同様に、新学習指導要領で強調されている、災害論につなげる。
12月 }	第五回定期考査	世界の産業	18h	<ul style="list-style-type: none"> 世界の土壌 世界の海洋 世界の農林水産業地域の形成過程や要因 世界の農林水産業地域の区分と分布、各農林水産業の特徴 世界の資源の分布 	<ul style="list-style-type: none"> これまでの自然地理学的知識を活用して、農林水産業および鉱業の分布の理解につなげる。
評価の観点・方法		知識理解・思考判断力や表現力を問う年5回の考査の素点を基礎として、授業の予習、授業中、復習などに積極的に自ら学習する意欲があるか、実力の向上が見られるかなどの観点も含めた出席状況、課題の提出状況、平常点を参考とする。それらを総合的に判断して評価する。			

令和3年度 年間授業計画

都立墨田川高等学校

教科・科目	地歴・地理B	講座名	地理B	対象年次	3
教科担任	坂口 克彦			単位数	5
教科書	新詳地理B (帝国書院)、新詳高等地図初訂版 (帝国書院)				
副教材等	新編地理資料 (とうほう)、データブック オブ・ザ・ワールド (二宮書店)、新地理の研究 (啓隆社)、新地理要点ノート (啓隆社)				

学習目標	現代世界の地理的な諸課題について地域性を踏まえて考察し理解させる。また、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、大学入試に対応できる実力をつける。
------	---

月	期間	単元	配当時間	学習内容	学習上の留意点
4月 ～ 5月	第一回定期考査	鉱工業 交通・通信・貿易 ・余暇活動	30h	世界各地の工業地域の形成について、立地の要因等に着目し学習する。 交通・通信の発達や、各国間もしくは経済圏を形成して行われる世界貿易の構造について、全地球的な視点から考察し、地理的認識を深める。 近年注目されている余暇活動 (労働・観光) についても、取り扱う。	地図 (GISを含む) や統計資料、景観写真等を用いて、学習内容を多面的・多角的な視点で分析する力を養う。
5月 ～ 7月	第二回定期考査	人口 村落と都市 言語・民族・宗教	30h	世界の人口や人口問題について、発展途上国と先進国それぞれの特徴をつかみ考察する。 村落・都市の形態や機能、その役割や内部構造の変容、都市問題等について学習する。 世界の言語・民族・宗教について、その多様性を学ぶとともに、異なる民族間・宗教間で生じている諸問題について学習する。	主題図、統計資料を活用し、学習内容を多面的・多角的な視点で分析する力を養う。
7月 ～ 10月	第三回定期考査	世界地誌	35h	アジアやアフリカ、ヨーロッパ、アメリカ、オセアニアといった世界の諸地域について自然や文化、産業などに現れる特徴を地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を深める。	各大学で出題方式が大きく違うため、受講生の志望する大学の入試に特化した精選を行う。
10月 ～ 12月	第四回定期考査	自然地理 および農林水産業・鉱業	35h	世界の地形や気候について、何故それがそこに見られるのかを自然科学的な視点から理解するとともに、人間生活とのかかわりに着目しながら系統的に学習する。 特に自然地理と結びつく農林水産業・資源エネルギー論について学習する。	大学入試共通テストが殊に自然地理に特化した出題である実態に鑑み、第一学年での既習範囲ではあるが、直前対策を行う。
12月 ～ 3月	第五回定期考査	総合演習	45h	これまで学習してきた内容についての演習を行うとともに、総合的な視点から現代世界の諸課題について解決するための方策の提案など、自分の意見をもつところまで必要な大学を受験する受講生がいた場合は、その基礎となる部分の学習のまとめを行う。	大学入試直前対策を実施する。特に論述対策が必要な受講生がいた場合には、添削指導等も実施する。

評価の観点・方法	年5回の考査の素点を基礎として出席状況、平常点を参考とする。また授業内では発表形式を採用しており、その予習、授業中のプレゼンテーションなどについて積極的に自ら学習する意欲があるか、実力の向上が見られるかなどの観点からも含め、総合的に判断して評価する。
----------	---

令和3年度 年間授業計画

都立墨田川高等学校

教科・科目	地歴・地理B	講座名	地理B演習	対象年次	3
教科担任	坂口 克彦			単位数	2
教科書	新詳地理B (帝国書院)、新詳高等地図初訂版 (帝国書院)				
副教材等	新編地理資料 (とうほう)、データブック オブ・ザ・ワールド (二宮書店)、サクシード地理 (啓隆社)				

学習目標	大学入試共通テストに対応できることを目標に過去出題された問題や頻度の高い問題の演習・解説を通して知識の確認・修得・実力向上を図る。
------	---

月	期間	単元	配当時間	学習内容	学習上の留意点
4月 ～ 5月	第一回定期考査	自然地理学概論	12h	大学入試共通テストが、自然地理学を基礎として出題されている実態に鑑み、気候論・水文学を中心とした自然地理学の基礎基本を押さえる。特に理科系生徒の受講者が多い実態も考慮して、理科や数学科にも応用できる講義展開を実施する。	小学校時代からの知識に立ち返りながら、あるいは理科・数学科などの知識も活用するなど、多様な視点から考察できる力、資料の活用能力の向上を図る。
5月 ～ 7月	第二回定期考査	産業論	12h	自然地理学の基礎の上に乗って、農林水産業・資源エネルギー論を理解する。大学入試共通テストで頻出している農業立地・工業立地論、および近年注目されている観光論についても理解する。	大学入試共通テストで用いられている自然地理と関連させた設問について慣れさせてゆく。
7月 ～ 10月	第三回定期考査	その他の系統地理的分野	14h	人口と都市・村落、人種・民族・宗教等の系統地理的分野を押さえる。	特に主題図や地形図との関連を意識させる。受講生自身の弱点分野を認識させ、対策法を伝授する。
10月 ～ 12月	第四回定期考査	世界地誌	14h	アジアやアフリカ、ヨーロッパ、アメリカ、オセアニアといった世界の諸地域について自然や文化、産業などに現れる特徴を押さえてゆく。	大学入試共通テストに出題される国、地域、分野に合わせた精選を行い、その対策法も伝授する。
12月 ～ 3月	第五回定期考査	実戦演習	18h	出題形式・難易度・時間・体裁など本番に備えた実戦練習を積み重ねる。	時間を決め正確に問題を解くスピードを身につける。弱点分野の補強・最終確認などを行う。
評価の観点・方法		年5回の考査の結果や実戦演習での結果とともに、授業中・復習などに積極的に自ら学習する意欲があるか、実力の向上が見られるかなどの観点から、総合的に判断して評価する。			